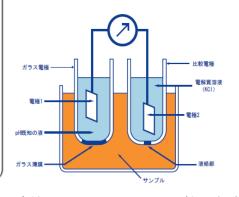


血液ガス分析と酸塩基平衡 (2) -pH, Astrup, pCO₂-

https://l-hospitalier.github.io

2016.7

 PO_2 の次に重要なのは pCO_2 。 生体は炭水化物を TCA 回路で酸化してエネルギーを得るので、最終産物である H_2O と CO_2 の排泄は重要。1955 年頃オハイオ州立大の Stow 博士*が CO_2 電極を発明。 世に出るのは 1970 年代に UCSF の麻酔医**セブリングハウス**が 3 種の電極をまとめて Stow **Severinghaus 型電極**とし、臨床血液ガス分析をしてから。 CO_2 は直接測定ではなく実は PH 測定。 【水素イオン指数】 PH は 1909 年デンマークのソーレンセンが $PH=-log[H^+]$ と定義。 F. Haber (1909) がガラス電極を発明。



極めて薄いリチウムガラス膜の内外にpHの異なる溶液があると、薄膜部分にpHの差に比例した電位を発生。特産レモンの酸味測定にカリフォルニア工科大のBeckman博士が世界初のpHメータを開発(1934)。1954年にデンマークのRadiometer

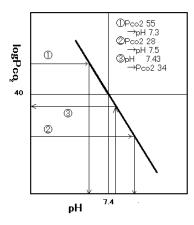
社が世界初の血液 pH 測定シ ステムを開発。 コペンハーゲ ン大の Astrup 教授は PCO₂ 測



定法を発見。Radiometer 社は血液ガス分析機器メーカの老舗で、 私も世界初の自動較正ガス分析器 ABL-1 にお世話になった (それ 以前 1971 年頃、会津の病院では Instrumentation Laboratory 社の

ILメータで深夜 3 種混合標準ガスをゆっくり流し較正に 1 時間もかかった)。 先輩は皆(速い) アストラップ (当時は(今でも?)「アストラップ」とは「血液ガス分析」のこと)。 【アストラップ法】では検体血液を①②③と3等分。 ①には Pco₂ = 55

アストラップ法によるPco2 測定の原理



mmHg の炭酸ガスを吹き込み、pH を測定(=7.3)。②には $Pco_2 = 28$ mmHg の炭酸ガスで pH = 7.5 ③はそのまま測定して pH = 7.43。 pH と Pco_2 を両対数グラフに記入し、①と②の回帰直線を引いて③の pH = 7.43 の時の $Pco_2 = 34$ mmHg を求める(内挿法)。 3 検体で重炭酸イオン濃度が同じだからで Henderson-Hasselbalch 式** $pH = 6.1 + log([HCO_3]/[PCO_2(mmHg) \times 0.03])$ はこの関係を示す。【Stow*の CO_2 電極】は pH ガラス電極の周囲に定濃度の重炭酸イオン塩溶液(重曹)を満たし半透膜で囲ったもの。血中の CO_2 は半透膜を通過して重

炭酸イオン液の中に移動して重炭酸イオンと pCO_2 で決まる pH を示す。 pH と pCO_2 の関係が一義的に決まり較正により pCO_2 測定可能。 【Stow-Severinghaus 電極】右図は UC San Francisco のセブリングハウス博士作成の世界初の pH、 pO_2 、 pCO_2 同時測定血液ガス分析装置(スミソニアン博物館)。



*Dr. Stow はオハイオ州立大の人工心肺の技師でした。 **ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式、知らないとこの世界ではモグリと言われる。 pKa(炭酸の解離定数)= - log([H $^{+}$][HCO3 $^{-}$] / [H $_{2}$ CO $_{3}$]) = 6.1 (Ka=約 2.5×10 $^{-4}$)。

#53